

第1回大網白里市男女共同参画審議会 議事要旨

日 時	令和元年12月26日(木)10時～11時40分
場 所	別棟大会議室
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
欠席委員	三木 美佐子、田中 肇、林 正樹、八角 榮子、上代 義隆(敬称略)
配付資料	別添のとおり

<議事要旨>

【1 開会】 (省略)

【2 市長あいさつ】

【3 委嘱状交付】

【4 審議会会長選出】

委員からの推薦により、後藤委員に決定した。

【5 市長より諮問】

【6 議題】

(1) 計画策定スケジュールについて及び(2) 男女共同参加計画の概要について

事務局 資料について、説明

会 長 質問、意見等がありますか？

今年は災害が多く発生し、大網白里市でも多くの被害が発生したと思う。平常時の男女の役割意識が、緊急時には強くなることから、災害時における男女平等は重要になってくる。そこで、どこかの段階で、今回の災害の状況を確認して、災害時、男女がどのような状況にあったのかなど、なんらかの形で避難所などの状況を得て、なんらかの視点を計画に盛り込んでいきたいと思う。避難所の設置に関する問題や避難所における女性に必要な物品等の配付のあり方などを確認したい。

委 員 民生委員として、今回の災害で、避難者に付き添う形で、季美の森の避難所に行った。避難所を開設する側も、避難する側も初めての経験で、体育館には、体育に使用するマットが敷いてあるだけであった。男性用、女性用の区別はなかった。お互いどうしたらいいのだろうか？というところがあった。

会 長 災害が短期間であればいいが、長期になれば、パーティションやテント型の仕切りなど、プライバシーの問題で配慮が必要となってくる。今回は初めてだが、2回目、3回目となったときに、男女共同参画の視点から入れられる項目があればいい。

委 員 外国人の支援をされていて、今回、災害に対する情報提供が難しいと感じた。市には610人くらい外国人がいるが、災害時の言葉は、外国人にとって難しい。たとえば、「避難し

てください」といっても難しい。外国人への支援などもこの計画でも盛り込んでいてもらいたい。

会 長 外国人への情報提供や、女性や障害者、外国人などなんらかのハンディキャップがある人に対しての配慮について、どのように入れていくのかはあるが、他の計画との整合をとりながら、市民が住みやすい市を作るために、男女共同参画の視点から何ができるのかを考えていきたい。

委 員 LGBTに関して、社会的に取り上げられてきている。学校でもクラスに2人くらい入る計算になるがなかなか言い出せない部分でもあるので、せめて啓発ぐらいできないかと思う。あえていれないという場合もあるとは思いますが・・・。

会 長 LGBTについては、体系には出てこないが、計画の個々の項目の中には入っている。もう少し、見える形にしていくということも検討する必要はあるとは思っている。

(3)市民・事業所意識調査の結果報告について

事務局 資料について、説明

委 員 この結果を事業所への配付はしているのか？

事務局 まだしていないが、HPでは公表していく予定である。

委 員 この結果を見て、地域によっては、男女共同参画が浸透していないところもあるので、HP以外の方法でも市民に浸透するような方法で公表してもらいたい。

会 長 どのように広報するのかは毎回の課題である。すべての事業所に対して配付するのは難しいと思うので、「ご協力ありがとうございました」のような通知に結果の概要版を入れて出すことはできないのか？事業所の場合、協力したのに返事がないとなるとまた協力したいとは思わないのではないか。

委 員 事業所の参考になるものが載っているので、それを見て、改善するとポイントが上がっていくのではないか。

委 員 回答しなかった事業所にもなんらかの結果を送ることで、意識が高まるのではないか。

会 長 啓発の方法と捉えると、すべての事業所に送ることが啓発になるのではないか。回答しなかった事業所は把握できるのか？

事務局 記名式ではないので、把握できない。

会 長 選ばれた事業所はわかるわけだから、お礼を兼ねて、A41枚くらいの結果を送るというのはできるのでは？FAXで送るとか・・・。

事務局 回答していない事業所に対して、「ご協力ありがとうございました」という文書を送ることはできない。なぜ回答していないのに、「ありがとうございました、なんだ？」と怒られてしまう。こういう内容では送付できない。

委 員 やるとするなら言葉を変えなければならない。

会 長 指摘があったように、回答していない事業所が問題なので、その事業所に届くような広報啓発が必要で、意識調査自体も広報啓発の一環であると思うので、せっかくアンケートをしたので、事業所に対して送付する物があれば、入れ込むとかはできないのか？広報啓発の方法を検討してもらいたい。回答していなくても、調査依頼はしているので、調査依頼をしたところには、なんらかのものを送るとするのが調査の流れだと思う。市民調査も同じだが、市民は見てくださっていいかもしれないが、事業所は市民より男女共同参画の意識を持ってもらいたいのでお知らせした方がいいと思う。何かいいアイデ

ィアはないか？

委員 以前、多文化共生の関係でアンケートをした際、結果について、同じような議論があった。ボランティア団体として、全体的な結果を外国人に周知した経緯はある。その際は、行政に頼らず行った。市役所内では、個々に結果を出すというのは個人情報観点からもやらなかった。

委員 事業所の結果は20数ページなので、印刷するだけであれば、そんなにお金はかからないのではないかと。配付となると別ではあるが……。商工会を通じてとか……。何かできそうではあるが、予算がかかるからできないのか？

事務局 予算は計上していない。いろいろな事業所があり、アンケートを送っただけでも苦情になる事業所もある中で、結果を送れば、どうなるのか……。という心配もある。

会長 アンケートを送付しただけでも、文句があるのか？

委員 苦情になるからといって、引いてしまうと何も進まないで、そこはなんとか対応してもらいたい。

委員 せっかくアンケートをやっても回収率が30%というののもったいないと感じる。一般的にはどうなのか？

会長 一般的にもこんな感じである。

委員 アンケートに対する苦情について、事業所は、お金のことではなく、男女共同参画という面倒なことって思ってしまうことが問題だと思うので、市としてもそのときの捉え方について考えてもらい、なんとか対応してってもらいたい。

事業所の結果について、101人以上の項目が抜けているがこれはどうしてか？

事務局 抜けているので確認します。

会長 再度確認してください。

内山委員 13ページの項目に「制度がない」というのがあるが、育児休業制度は法律によって、決められているのに、なぜ「制度がない」という選択肢があるのか？雇用形態としてないのか、内規的なものがないということなのか、回答する側は回答しづらいのではないかと？雇用主としては考えてもらいたい部分である。

会長 育児休業や介護休業は、法律があるのに、「制度がない」というのは、とても気になった。半数以上が「制度がない」というのはいかがなものかとは思った。

ハラスメントについても、問題になったことがないという割合が少なすぎる気がする。また、ハラスメントが問題になったときの相談窓口を設けるかという質問に対し、「設ける予定がない」という項目があるが、これは明らかに労働基準法違反なので、そういう事業所に対して、「法律違反なので是正してください。」と文書を送りつつ、このアンケートの結果についても見てくださいますことは、必要だと思う。法律的に違反している部分について、この調査を使うことは合理的だと思う。これが外に出ると、「大網白里市はまずい」ということになってしまう。ハラスメントの規定は事業主の義務である。アンケートを送った300の事業所以外の事業所もあるのか？

事務局 もっとある。

委員 従業員数の多い少ないにかかわらず、1件と数えるのか？

事務局 そうである。

委員 法人登録してある事業所なのか？

事務局 必ずしもそうではない。

- 会長 なんらかのやり方で結果を事業所に意識してもらいたい。コンプライアンスの観点からも、事業主が法律から自由になることはないので、結果を知らせたい。
- 委員 10ページでまず、ワーク・ライフ・バランスについて全体的な質問をした上で、次に個々の施策について実施しているかという質問になるので、ここでは内規的なものがあるのかどうかについての「制度がない」という項目になっているのだと思う。
- 会長 今回の意識調査は、ワーク・ライフ・バランスを推進するという国の施策や法律があるので、それを選んで聞いていると思う。この審議会としては、なんらかの形で事業所にメッセージを送りたいというのが総意であるので、工夫をして事業所に伝えてもらいたい。すぐに広報するというのは難しいと思うので、1年の中で、啓発してもらいたい。事業所への啓発は、前期の計画ではなかなかできない部分であったし、せっかく意識調査をしたのだから、ただHPに載せるだけではなく、伝える方法を考えてもらいたい。また、市民調査の方だが、回答者の属性が前回とどの程度変わっているのかがわからないので、比較をしてもらいたい。
- 気になったのが、男性優遇と女性優遇についてである。女性が優遇されている割合は少ないわけだから、それをどこかに書いておいた方がいいのではないか。男性が優遇されている事実がある中で、女性が優遇されていると感じている人が1割もいるのは問題ではないか？男性優遇、女性優遇というよりも、まとめ方としては平等になっているかどうかを中心にした方がいいのではないか。
- 委員 優遇とはどういうことなのかなと思った。別の言葉の方が良かったのでは？
- 会長 優遇というよりも差別という言葉を使った方がよりわかりやすかったかもしれないが、前回は優遇で聞いているのでそれは仕方ないと思う。これは、前回と同じまとめ方か？
- 事務局 そうである。
- 会長 平等の意識の変化はあまりない。
- 委員 これは非常にうまくまとめられていて、これをまとめるのは相当大変だったと思う。文言一つにしても、重要となってくると思うので、ぜひ公表すべきだと思う。
- 事務局 公表する予定である。
- 会長 この質問からいくつかのことを読み取りたいと思うので、例えば、「平等だと思っている人が一番少ないのは政治である。」とか、最初に書いて、男性優遇されているとか女性優遇されているという風には書けば、印象が変わってくると思う。その辺をもう一度検討してもらいたい。
- 調査結果は、計画を策定する際に、利用していきたいと思う。特に、自由意見については、いろいろな意見があるので、そこからも意見を拾って、計画に反映していきたい。

【7 その他】 なし

【8 閉会】